

【教育連携委員会】事業計画兼予算申請書（2026年4月～2027年3月）

事業概要	活動施策との対応	対象	期待される効果	時期
外国籍児童生徒の就学支援事業（東松山モデル）	(1)-1	東松山市を中心とする小中学校へ転入予定（または在籍）の外国籍児童生徒	活性化対象地域自治体が抱える課題解決の支援を通じて、プラットフォーム形成の有効性（地域に大学が必要）を共有してもらおうと同時にボランティア学生に学外での学びの場が確保できる。来日間もない児童・生徒がスムーズに学校生活を送るために有効である。	通年
社会人対象教育プログラム2026（含むニーズ調査）	(2)-4 (3)-1	活性化対象地域の社会人（自治体・企業を含む）	活性化対象地域の社会人を対象とした学びなおしの機会を提供する。地域の産業の活性化にも寄与する。 また、自治体、企業に対するアンケート及び協議から、社会人教育プログラム、企業人材教育プログラムについてニーズを調査することで、提供内容、形式として何が有効かを明らかにする。	5月～6月 又は 7月～9月
共同FD 共同科目設置を目指した科目研究の実施（含む社会人教育大学間連携科目） ・医療×介護・福祉×教育 ・やさしい日本語	(1)-7 (3)-2 (3)-3	TJUP会員校	大学間における類似・同一科目の内容を相互に研究し、教育の質向上を狙う。 また、社会人教育のための科目設置を念頭に置いた検討をすることで今後の事業展開に寄与する。	4月～9月 又は 7月～9月
教育連携懇談会【フォーラム2026】	(1)-4 (2)-1	活性化対象地域の自治体教育委員会および小・中学校関係者、事業者会員、一般	自治体、企業等及び大学による教育連携に関する懇談会を開催し、地域における課題とニーズを把握したうえで連携の可能性を探り、大学としての社会的役割を担う事業展開のきっかけとする。	7月または9月
教育支援講座「やさしい日本語研修会（プロジェクト事業）」	(1)-1	活性化対象地域に所在する小中学校の教職員（東松山市）	外国人児童生徒への対応力の向上を支援することで、教職員の負担の軽減及び当該児童生徒の学習環境の向上に資する。	10月～3月
教育支援事業「TJUP版 学校応援団」についての基礎調査	(1)-1	TJUP会員校	「TJUP版 学校応援団」の実施可否の判定	4月～5月